

# 訪問看護総合支援センター試行事業 の取り組み ～設置に向けた第一歩～



令和3年3月20日（土・祝）  
令和2年度訪問看護に関する事業報告会

公益社団法人富山県看護協会  
専務理事 向野 勝美

# 本日の内容

1 訪問看護総合支援センター試行事業への取り組んだ動機・経過

2 富山県の訪問看護ステーションの状況（R1）

3 事業内容

新規事業 富山県訪問看護ステーション連絡協議会集計データの分析  
人材確保の実態を知るためのアンケート実施

訪問看護事業検討委員会

訪問看護ステーションの新卒看護師育成検討ワーキング

既存事業 強化した事業

4 まとめ

## 訪問看護総合支援センター試行事業に取り組んだ動機と経過

### 動機

#### ①訪問看護ネットワークセンター

平成22年 富山県看護協会に設置。

県内の訪問看護ステーションに関するあらゆる相談に応じている。

また、県からの委託事業を受託し、業務を拡大してきた。

平成25年から、富山県訪問看護ステーション連絡協議会事務局もネットワークセンターで担っており、県内のステーションの状況を把握し、県行政との連携も深まっている。

#### ②ナースセンター

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」にある「訪問看護師に対する研修」を行ってきている。

③それぞれが機能を果たし、訪問看護の質の向上、看護師確保に取り組んでいる。

④しかし、日本看護協会が示す訪問看護師倍増計画にあるように、上記をさらに進めるためには、訪問看護に係る様々な課題を一体的、一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化や推進支援を図る拠点としての訪問看護推進センターの設置が必要。



⑤既存のネットワークセンターを強化する第一歩として、令和2年度訪問看護総合支援センター試行事業（委託事業）に取り組もう。（県行政への財政支援への足がかりにもできる。R1,2年県へ予算要望）

## 経過

センター機能の3つの目的と7つの機能に沿って、既存事業の洗い出し

目的	機能
1.経営支援	1)事業所運営基盤整備支援
	2)訪問看護事業所の開設支援
2.人材確保	3)潜在看護師・プラチナナース等の就業及び転職促進
	4)人材出向支援
	5)新卒看護師採用に向けた取り組み
3.訪問看護の質の向上	6)訪問看護に関する情報分析
	7)教育・研修実施体制の組織化

A実施できていないこと → **新規事業**として立案

B既存事業でできていること → **強化すること、重点的に行うこと**を分類

C 携わるスタッフと役割、スケジュールなど共有

## **A 新規事業**

- ・ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会で集計しているデータの分析
- ・ 人材確保の実態を知るためのアンケート実施
- ・ 訪問看護に関する協議の場の設置
- ・ 新卒看護師の育成について検討

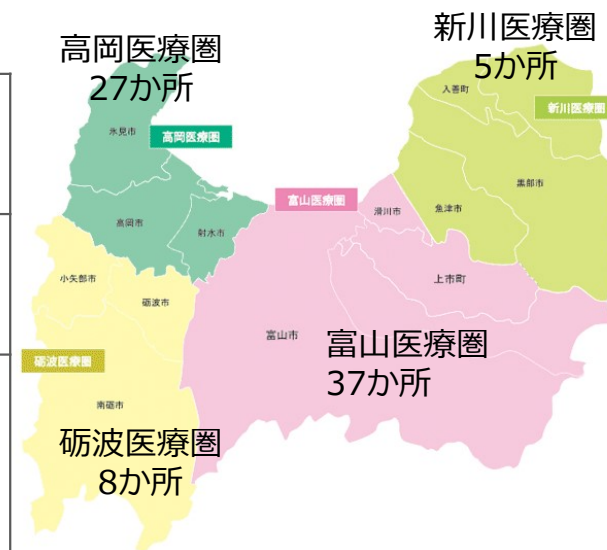
## **B 既存事業で強化**

- ・ 訪問看護サポートステーション事業
- ・ 新設3年未満のステーションへのアドバイザー派遣事業
- ・ 訪問看護ステーションへの病院看護師出向事業
- ・ 訪問看護ステーション管理者育成研修
- ・ 訪問看護ステーションPR用パンフレット作成

## 2 富山県の訪問看護ステーションの状況 (R1)

### 1 訪問看護事業所数 77か所

設置主体別	医師会 5 医療法人 13	自治体 3 株式会社 32(41.6%)	社会福祉法人 5 他 19
医療圏別	富山医療圏 37 (うち富山市 34) 高岡医療圏 27 新川医療圏 5 砺波医療圏 8		
規模別	看護師常勤換算 5人未満 51 (66,2%) 5~10人未満 20 10人以上 6		



### 2 職員数

看護職	常勤 331人	非常勤 187人	常勤換算 5.22人
リハ職	常勤 59人	非常勤 39人	
事務職	常勤 21人	非常勤 34人	

## 新規事業

### ① 富山県訪問看護ステーション連絡協議会集計データの分析

- ・ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会では、平成5年から県下のステーションの活動状況を調査してきた。
- ・ これまで単年のデータ分析にとどまっていたため、年次推移や医療圏ごとの実態について詳細な分析が必要との思いがあった。
- ・ 直近10年間のデータ分析を行った。
  - 医療圏別では、ステーション数や独居者、在宅死に格差があり、地域がもつ特徴や医療体制と合わせてみていく必要がある。
  - 軽い介護度の方が増えており、認知症や予防対応が重要である。
  - 小児や精神の利用者が増えているが、特に小児に対応できるステーションがまだ少なく、人材育成が必要である。



## 富山県訪問看護ステーション連絡協議会集計データの分析（R1）

### 訪問看護利用者

	利用者実数	8,022人
	延訪問回数	378,876回
	1人あたりの訪問回数	47.2回
介護 保険	利用者数	5,468人
	延訪問回数	222,235回
	1人あたりの訪問回数	40.6回
医療 保険	利用者数	2,713人
	延訪問回数	156,641回
	1人あたりの訪問回数	57.7回

## 富山県訪問看護ステーション連絡協議会集計データの分析（R1）

### 特別管理加算利用者数 （県内77事業所）

	事業所数	利用者数（人）
留置カテーテル	68	869
在宅酸素療法	64	526
ストーマ	58	283
胃瘻	55	320
褥瘡	51	171
CVポート	48	239
人工呼吸器	42	135
自己導尿	42	114
輸液ポンプ	38	143
気管カニューレ	36	93
経鼻栄養	26	85
腹膜透析	11	15
その他※	33	123
合計		3,116

※その他：点滴、PCAポンプ、PTCDなど

# 富山県訪問看護ステーション連絡協議会集計データの分析

## 性別・年齢別利用者数推移

利用者数は年々増加しており、全世代で増えている。特に14歳以下の増加が目立つ。

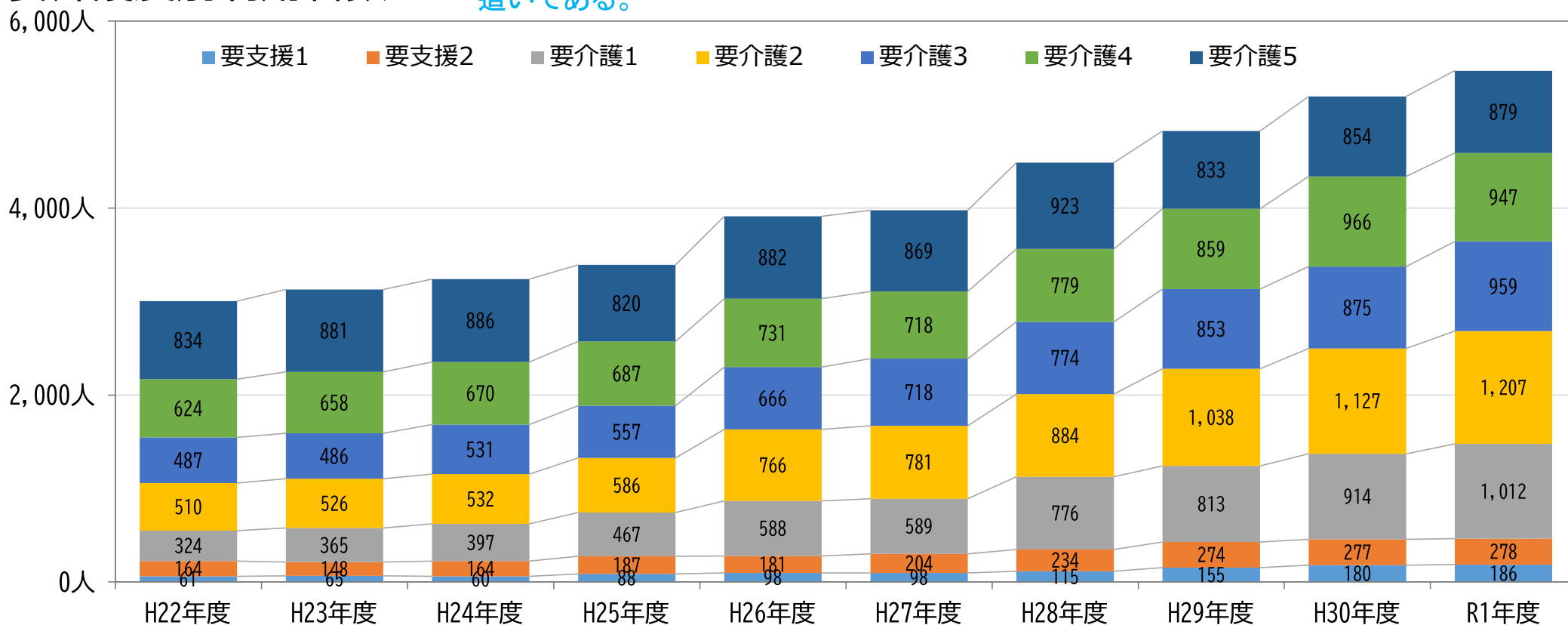
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
性別	男	1,825	1,861	1,992	2,170	2,546	2,676	3,085	3,243	3,469	3,691
	女	2,009	2,117	2,220	2,348	2,840	3,040	3,372	3,688	4,043	4,331
年齢別	0-14歳	15	12	14	46	95	109	132	134	149	190
	15-39歳	48	46	55	67	80	93	123	139	144	188
	40-64歳	336	332	331	341	400	419	484	529	562	643
	65-69歳	246	236	280	292	377	424	505	482	474	474
	70-74歳	351	355	373	446	536	569	546	641	750	839
	75-79歳	609	610	624	633	769	725	843	883	1,044	1,097
	80-84歳	791	833	875	902	1,029	1,131	1,249	1,280	1,316	1,324
	85-89歳	713	724	844	850	1,055	1,107	1,275	1,445	1,477	1,544
	90歳以上	725	830	816	941	1,045	1,139	1,300	1,398	1,596	1,723

資料出所：富山県訪問看護ステーション連絡協議会「訪問看護実績報告書」

# 富山県訪問看護ステーション連絡協議会集計データの分析

## 要介護度別利用者数

要介護1が3倍以上に、要介護2が約2倍に増加しているが、要介護5は「ほぼ横這い」である。



資料出所：富山県訪問看護ステーション連絡協議会「訪問看護実績報告書」

## 富山県訪問看護ステーション連絡協議会集計データの分析

### 主病名

精神が8.7倍、腎・泌尿器疾患が3.6倍、認知症が3.2倍に増加している。

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
循環器疾患	1,191	1,183	1,206	1,269	1,413	1,404	1,493	1,638	1,831	1,909
呼吸器疾患	253	279	261	312	363	350	370	415	448	417
消化器疾患	83	108	120	116	132	154	192	197	238	235
腎・泌尿器疾患	124	146	142	164	210	237	282	339	378	442
皮膚疾患	89	101	105	101	123	155	152	138	147	156
筋・骨格結合組織	364	394	425	457	537	520	571	618	629	687
悪性新生物	635	670	744	847	999	1,122	1,200	1,243	1,342	1,424
内分泌代謝	189	209	237	244	279	280	348	380	404	463
神経難病	418	382	392	399	475	512	594	672	693	800
精神	50	67	69	106	134	177	284	351	361	439
認知症	202	288	317	357	444	468	575	569	627	656
感染症	11	25	18	15	21	18	24	28	22	17
その他（小児他）	225	149	176	152	242	320	372	343	392	377
合計	3,834	4,001	4,212	4,539	5,372	5,717	6,457	6,931	7,512	8,022

資料出所：富山県訪問看護ステーション連絡協議会「訪問看護実績報告書」

# 富山県訪問看護ステーション連絡協議会集計データの分析

独居者（医療圏の比較） 富山、高岡医療圏の独居者の割合が高い。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
新川医療圏	総数	25	19	12	30	19	25	35	62	69	59
	割合	6.1%	5.0%	3.0%	7.3%	4.8%	6.1%	8.7%	16.8%	17.3%	13.3%
富山医療圏	総数	172	190	222	249	315	397	620	689	846	1,046
	割合	10.9%	11.7%	12.3%	12.4%	12.7%	15.0%	19.6%	20.7%	24.5%	27.9%
高岡医療圏	総数	63	82	94	136	207	249	274	347	608	697
	割合	6.8%	7.8%	8.6%	11.7%	14.2%	15.8%	15.4%	16.6%	24.3%	26.7%
砺波医療圏	総数	37	42	45	55	90	90	98	118	161	188
	割合	4.0%	4.5%	4.8%	5.7%	8.6%	8.3%	8.9%	10.3%	14.0%	15.5%
合計	総数	297	333	373	470	631	761	1,027	1,217	1,685	1,991
	割合	7.7%	8.3%	8.9%	10.4%	11.7%	13.3%	15.9%	17.5%	22.4%	24.8%

※割合はその年のその医療圏の利用者に対する独居の者の割合

資料出所：富山県訪問看護ステーション連絡協議会「訪問看護実績報告書」

# 富山県訪問看護ステーション連絡協議会集計データの分析

## 在宅死の割合（医療圏の比較） 高岡、砺波医療圏の在宅死の割合が高い。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
新川医療圏	総数	78	51	41	44	44	37	31	29	47	32
	割合	19.1%	13.4%	10.4%	10.7%	11.2%	9.0%	7.7%	7.8%	11.8%	7.2%
富山医療圏	総数	123	126	170	194	211	268	298	264	297	317
	割合	7.8%	7.8%	9.5%	9.7%	8.5%	10.1%	9.4%	7.9%	8.6%	8.4%
高岡医療圏	総数	117	171	171	168	195	217	214	249	291	252
	割合	12.7%	16.2%	15.7%	14.5%	13.4%	13.8%	12.0%	11.9%	11.6%	9.6%
砺波医療圏	総数	130	139	100	91	116	122	114	102	90	110
	割合	14.0%	14.7%	10.7%	9.4%	11.1%	11.3%	10.4%	8.9%	7.8%	9.1%
合計	総数	448	487	482	497	566	644	657	644	725	711
	割合	11.7%	12.2%	11.4%	10.9%	10.5%	11.3%	10.2%	9.3%	9.7%	8.9%

※割合はその年のその医療圏の利用者に対する在宅死の者の割合

### 3 事業内容

#### 新規事業 ②訪問看護師人材確保に関するアンケート実施

##### ①訪問看護ステーション管理者を対象

- ・プラチナナースの雇用に関すること
- ・新卒看護師の雇用に関すること

##### ②県内看護教育機関教員を対象

- ・新卒看護師の採用と育成に関すること



## 3 事業内容

### 新規事業 ③訪問看護に関する協議の場の設置

#### 「訪問看護事業検討委員会」

#### 【目的】

病気や障がいがあっても住み慣れた地域でその人らしく最後まで暮らすことができるように、地域包括ケアシステムの整備を進めている中、訪問看護師の増員は喫緊の課題であり、県内の訪問看護師の人材確保及び訪問看護ステーションの安定的な運営支援を行うことを目的として、訪問看護事業検討委員会を設置する。

## 訪問看護事業検討委員会

### 【委員】

県医師会 在宅担当理事

介護支援専門員協議会会長

公的病院看護部長連絡協議会会長

看護教育代表：福祉短大学長(会長)、県立大学地域看護学教授

富山県訪問看護ステーション連絡協議会会長

富山県看護協会立訪問看護ステーション管理者

社会保険労務士会

中小企業診断士協会

県行政：高齢福祉課長、医務課長

富山県看護協会会長

12名

# 訪問看護事業検討委員会

## 【委員会内容】

○本委員会設置趣旨と試行事業及びセンター化への意向説明

○報告事項

- ・ 訪問看護に関するデータ分析結果
- ・ 人材育成に関するアンケート調査結果
- ・ 既存事業の概要

○協議事項

- 1) 訪問看護に関する現状分析について
- 2) 訪問看護に関する人材確保について
- 3) 訪問看護ステーションの安定的な運営について
- 4) 訪問看護ステーションの質の向上について

**新規事業** ④新卒看護師の育成について検討  
「訪問看護ステーションの新卒看護師育成検討ワーキング」

**委員** 公的病院看護部長連絡協議会会長  
看護教育：福祉短大学長(会長)  
養成所  
富山県訪問看護ステーション連絡協議会会長  
富山県看護協会訪問看護ステーション管理者  
富山県看護協会会長 6名

**内容** 看護学校教員に対するアンケート結果  
看護教育機関教員がステーションへの就職を勧める要因  
新卒看護師が訪問看護ステーションへ就職することを可能にする要因  
育成マニュアルやプログラム検討の必要性

## 既存事業 強化して実施

### (1) 訪問看護サポートステーション事業

事業内容	県内4医療圏ごとに1~2か所のステーションを指定し、管轄のステーションの相談や同行訪問などの支援を行う。
強化内容	年2回の管理者連絡会に、県行政の担当課の出席を求めた。 また、アドバイザー派遣事業のアドバイザー（東京都在住）からのリモートによる小規模ステーションへの支援方法などについて具体的にアドバイス。

### (2) 新設3年未満のステーションへのアドバイザー派遣事業

事業内容	新設3年未満のステーション5か所に上記アドバイザーより個別に人材育成、経営支援などのアドバイスをいただく。
強化内容	アドバイザーとして(1)のアドバイザーに加え、新たに社会保険労務士を依頼し、2ステーションで実施。

### **(3) 病院看護師の訪問看護ステーションへの出向事業**

事業内容	病院看護師が3～6か月間訪問看護ステーションに出向し研修を行う。
強化内容	今年度はコロナのため1組のみ参加した。研修受け入れは2組参加した。

### **(4) 訪問看護ステーション管理者育成研修**

事業内容	今まで年1回の研修
強化内容	管理者の要望の多い人材育成・安定的な経営について、追加研修を行った。

### **(5) 訪問看護ステーションPR用パンフレット作成**

強化内容	既存のパンフレットは古いので、内容を刷新した。
------	-------------------------

## 4 まとめ

- 本試行事業の新規事業及び既存事業は、センター機能の3つの目的、7つの機能に合致しており、センター事業の妥当性を検証できた。
- 一つの事業にはいくつもの目的があり、事業を行うときは訪問看護の多機能を考慮した展開が必要であり、そのためには、訪問看護に係る様々な課題を一体的、一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化や推進支援を図る拠点は必要である。
- 今後もネットワークセンターの「総合支援センター化」を継続して目指していきたい。また、組織を強化するには、管理的立場の職員と資金が必要。県行政に機会あるごとに要望を出していきたい。

ご清聴ありがとうございました。

